



【巻頭言】 新支部長に就任して



千葉県支部支部長 川畑眞一

技術士会会長から千葉県支部長に指名された川畑です。  
諸先輩方を差し置いてこのような重責を任されることになり、身の引き締まる思いです。

職責を全うするべく微力ではありますが、力の及ぶ限りの努力・注力をしていく所存ですのでご協力をお願いします。

松井前支部長は「千葉エリアに密着した活動」を標榜され、産学官の連携、企業の支援、教育の支援、技術士の資質向上等に取り組んで、支部を引っ張ってこられました。私もこれを踏襲しつつ、さらに技術士と千葉県支部の知名度向上に取り組んで参りたいと考えます。

インドでは子供が生まれて 3 秒後には人生の進むべき道が決まるそうです。女の子だったら医者、男の子だったら技術者です。日本でも「技術士」を持つ技術者に憧れるよう、今まで以上に、機会を作り私たちの活動を世に示して行きたいと考えます。

情ない話をします。千葉県支部の財政状況は危機的で、毎年、赤字のため本部から、来年度の予算を年度末には前借をする状況です。本部からの配賦を増やすよう松井前支部長は尽力されたのですが、本部からは今のままでがんばれとのこと。「出を制して、入を図る」という言葉がありますが「出を制す」と支部活動の低下になりかねません。ここは「入を図る」べきと考えますが 2 つ方法があります。一つは CPD で収入を得ることで、本部も CPD の活性化でがんばれというのですが、ほぼ、毎月 CPD を行っていますので限界に近いのではないかと考えます。もう一つは賛助会員を含め、千葉県支部の会員を増やすことです。皆様の周りに千葉県と関わりがありながら、千葉県支部の会員でない方がいらっしゃいましたら千葉県支部にお誘いください。会員が増えますと配賦も増えます。ふるさと納税と同じですのでご協力をお願いします。

最後に、日本は科学技術創造立国です。市民の安心・安全・快適は科学技術の力により実現しています。また、科学技術で外貨を稼ぎ、そのお金でエネルギー、食料などを外国から調達しています。日本を支えているのは科学技術です。その一翼を我々「技術士」が担っている矜持を持って活動していこうでは、ありませんか。

**【新合格者紹介】** 平成 28 年度の二次試験合格者の自己紹介コーナーです（順不動）

**【二次試験合格 岡部 信也(機械部門)】**



はじめまして。新米技術士の岡部と申します。

私は船橋市出身で現住所は市川市です(今は、単身赴任で勤務地が仙台です)。

〈現在の仕事のやりがい等〉

顧客の課題解決(ソリューション)として省エネなどの提案営業をしており、国などの補助金・優遇制度の活用検討・提案で、多くの方々に”喜ばれる”ことがやりがいです。

〈技術に入るきっかけ〉

技術への興味は電機メーカーに勤めていた父の影響がありました。大学では数学が専門で理論ばかりでしたが、父と同じ電機メーカーに就職後、設計・研究で”実験・実証の重要性”も知り、改めて技術の面白さに目覚めました(父は2月に亡くなりました)。

〈今後の抱負〉

省エネなどの技術・ノウハウ・知識をさらに高め、拡めたいと思っております。また特に震災後、省エネ・節電に対する感心が高まりましたが、技術面からも世間の誤解・風評等が見受けられるため、官・民・教からの改善・是正にも係わりたいと考えております。先輩技術士の方々のご指導を賜わりたく存じますので、宜しく願い申し上げます。

**【二次試験合格 加納 秀道(電気電子)】**



はじめまして。この度、平成 28 年度電気電子部門二次試験に合格し、3 月に技術士登録した加納秀道と申します。私は、建設会社で建築電気設備の設計及び設計監理を、入社以来 24 年間行っております。これまで、千葉県にもいくつかの建物を残すことができました。

技術士受験のきっかけは、会社で取得を推奨されていることもありますが、技術系の最難関の資格である技術士を取得することで、自分の活動の領域を広げることができると思ったからです。一次試験の合格から二次試験の合格まで、10 年もかかりました。途中で何度かやめようかと思いましたが、何とか合格することができました。今後は、技術士の責任を自覚し、自己研鑽に努めたいと思います。

千葉県支部の合格者祝賀会に参加させていただきましたが、技術士の先輩方が生涯現役を貫き、とてもいきいきとされている様子に感銘を受けました。自分も頑張らないといけないと思いました。

今後、多くの方々との交流により見識を深め、千葉県の技術発展に貢献したいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【二次試験合格 木村 敏宏(電気電子)】



私は、現在、データセンターにて設備の統括管理責任者として運用管理をしています。

前会社は、機械メーカーで電気電子関係の応用設計をしており、約5年前に転職しました。

50歳ごろ、技術分野での「生涯現役」で働きたいと思い、資格取得(電験2種、エネルギー管理、冷凍1種など)を取得し、設備業界に転職しました。

技術士は、技術分野の最高峰の資格ですので、憧れの資格であり、ようやく、合格できました。

技術士は、他の資格とは違い、各分野の専門家の方々と交流ができ、「生涯現役」で気概を持って働いておられる諸先輩の方々が多人数おられます。

私も、そうなりたいと思っている次第です。

現在、千葉県支部を始め、衛生工学、機械、環境などの部会の講演を聴講しており、私の楽しみとなっております。

千葉県支部の企業支援チームに参画させて頂きました。

社会貢献できるよう努力したく考えます。

どうぞ、よろしく、お願い致します。

【二次試験合格 小林 創(水産)】



平成28年度二次試験に合格し、本年4月に技術士(水産部門)となりました小林と申します。

現在は建設コンサルタント会社の企業内技術士として、海域を中心とした水域環境の調査、解析評価、提案に携わっています。

＜技術の道に入るきっかけ＞

物心がついた頃には週末毎に家族で山川海に出かけ、楽しみながら夕食のおかずを調達していました。

結果、大学は水産系の学科を選び、就職は生き物としての魚介類やその生活環境に触れることを選んで、現在のコンサルタント会社に入りました。

＜技術士受験のきっかけ＞

日々の業務の中で自身の技術力を高めていき、客先の信頼と新たな業務に繋げていく上で、技術力の尺度を表すには公的な物差が必要であり、必然的に「技術士取得」という目標が形成されました。

＜今後の抱負＞

受験を開始した当時は経験年数だけで直接2次筆記から挑戦できたのですが、途中、かなり回り道をしてここに至りました。

今後は、水産分野を核に周辺分野まで横断的に接し、考え、解決していけるように、引き続き研鑽に励み、常に現場に立ち続けていたいと考えています。

【アドバイスも時とともに変わっていく（古い情報に注意せよ）

化学部門 秋元英郎】

私が本部の「技術士開業支援実行委員会（現在技術士活性化委員会に再編）」の委員であった 2015 年に、技術コンサルタントガイドブック第 4 版に「技術士事務所開業の苦労話、失敗談」を書いた。その内容は 2010 年に 51 歳で独立し、仕事の環境を整えたり、知名度を高めるために行ってきたことを紹介したものである。

あれから 2 年経ち、本部から第 5 版に改定するにあたり、上記記事をそのまま収録して構わないかとの問い合わせを受けた。その場では了承したものの、内容の古さに愕然とした。そこで何が変わったか整理してみた。

ホームページは自分で作らずに 2010 年に専門業者に委託して制作したが、自分で修正することが難しく、スマホ対応もしていない状況であり、ワードプレスで全て作り直した。2010 年に 30 万円かけ、その後の修正に約 20 万円投入したホームページは、マンツーマンワードプレス 1 日講座(3 万円)でリニューアルした。今では、自由に自分で追加修正が可能である。2010 年当時の判断は正しかったが、時代が変わったのである。自分で全て制作するのでもなく丸投げするでもない個別指導は、今ならミラサポの活用も可能である（ただし、よろず支援拠点への相談が必要）。

最初の頃メールはアウトルックを使っていた。これだと受信メールは PC でもスマホでも受けられるが、送信メールは送信媒体のローカルに保存され、不便であった。もっとも、2010 年ころはスマホをつかってはおらず、常にノート PC を持って歩いていたので問題が顕在化しなかったが、スマホでもメールを受けられるようになって困るようになった。そこで、メールアドレスを変えずにメールサーバーを G メールサーバーに引越すという方法で、送信メールも G メールサーバーに保存されるようになった。（このとき、千葉県産業振興センターの専門家派遣制度を利用して情報工学の専門家の指導を受けた。）

名刺管理のやり方も変えた。千葉県支部会報第 2 号(2015)では sansan を使った名刺管理を紹介している。当時は年間 30 万円払って年間 1000 枚ペースで溜まる名刺を管理するにはリーズナブルと考えていた。しかし、最近は Eight(運営は sansan)の年間 4000 円のプランで名刺の取り込み・データ化・ダウンロードが可能になったので、Eight に乗り換え、その一方で Salesforce(顧客管理システム)を導入して Eight からダウンロードした名刺情報をセールスフォースにアップロードしている。費用は年間 30 万円かかるが、sansan に払う 30 万円よりもセールスフォースに払う 30 万円の方が価値あると感じている。

これまで、会報で毎回書いてきた技術士事務所のノウハウをまとめて 12 月 9 日の CPD 行事でまとめてお話しする予定である。

以上



**【アクティブ 45+】** 仕事以外の分野で若者に負けない活発な活動をしている会員を紹介するコーナーです。

アクティブ45+

この企画は仕事だけではなく、いろいろな活動をしている技術士を紹介するコーナーです。45歳は「青年委員会」の参加資格が無くなる年齢ですが、青年の心（時として少年の心）を持ち続けることは、仕事の質を高めるためにも重要なことです。

### マンホールに魅せられて

竹内利一（機械部門）

私がひそかに写真を撮って楽しんでいるものがある。

ひそかにとっても、別に怪しいものでもいかかわしいものでもない。

それはデザインマンホールである（下の写真は、私が実際に撮影したもの）。



「マンホール」とは、地下の深い下水道など横穴の点検用として、作業員が地上から出入りできるように地面にあけられた大きな縦孔のことを意味する。

この「マンホール」のことを別名「人孔」と呼び、道路でよく見かけるマンホール蓋のことを一般に「マンホール蓋」、「人孔鉄蓋」と呼ぶが、日本グラウンドマンホール工業会では正式名称として、「グラウンドマンホール」と呼ぶ。

ちなみに、600φを境に大きい孔を「マンホール」と呼び、600φより小さい孔、手を入れて作業する小さい孔を「ハンドホール」という分け方もあるが、現状流通している「ハンドホール」のなかには600φをこえる大型のものも多く、大きさの区分が当てはまらない場合もある。

ハンドホールの多くは地中にケーブルや配線などの電設資材や通信機器を地下に埋設するための比較的浅い位置の地中空間を形成するための点検柵と言った方が適している。

乱暴かもしれないが、道路にある下水管の大きな鉄蓋を「グラウンドマンホール」、電気ケーブル用の点検柵に取付ける鉄蓋を「ハンドホール蓋」、道路と電気用に使わない鉄蓋を「敷地内マンホール蓋」と考えると分かりやすい。

そしてデザインマンホールとは、日本全国各地に存在する、各地域独特の意匠を取り入れたご当地マンホールの蓋である。

ご当地マンホールで採用されているデザインは、一見してそれとわかる地方の名物や観光名所が基

本であるが、中には自力で調べなければ分からないようなものもある。  
2016年現在、デザインは1,700の自治体に合計1万2,000種ほど存在するとみられている。  
彩色を施す場合は、着色した樹脂を凹部分に流し込んで作る。  
単にデザインに偏重するだけでなく、線に変化をつけることで、安全性も確保している。

2014年3月には官・財・民の関係者が一堂に会する「マンホールサミット」が開催され、初回以降も定期的に開催されている。  
また、注目の高まりに合わせてご当地マンホールを紹介する書籍が発行されたり、情報を共有するウェブサイトが開設されたりしている。

ちなみに今年の「マンホールサミット」は、埼玉県の水道が事業着手から今年度で50周年を迎えたことを、1月14日に埼玉県ウエスタ川越で開催された。

大ホールは、「埼玉県流域下水道50周年特別企画」と元の高校生たちによるパフォーマンスで幕開けした。玉県が今年度初めから進めてきた様々な取組の成果。午後は、マンホールサミットの定番メニューとして全集まった下水道蓋の愛好者マンホーラーたちによる「トーク」や、4月から配付予定の「埼玉県8流域と川越市のマンホールカード」の先行配布が行われた。

ロビーでは「マンホールグッズ」の販売に人だかりができ、屋外の広場に展示された県や市町の実物のマンホール58枚には記念写真を撮る人が途切れることなく訪れるなど、サミット会場は約3,000人の来場者で1日中賑わいを見せた。

最近では歴女、カープ女子に続き、マンホール女子と葉も登場している。

マンホール女子といっても全然エロイ女子のことで「マンホールが好きな女子」のことである。

右の写真は昨年のマンホールサミットで、歴代の「ミス」のみなさん。

昨年のマンホールサミットでは、マンホール女子たち思いがこもったトークが繰り広げられた。



流域下  
記念し  
して地  
のち、埼  
を発表。  
国から  
「リレ



いう言  
はなく、  
日本「水  
の熱い



更には、「マンホールどら焼き」などというものもある。  
これは、マンホールデザインをハイクオリティに再現した焼印を使用した、食べられるマンホール。  
味も、大納言小豆・抹茶味・さくら味などがあり、雪華堂という甘納豆屋さんでネット通販されている。

気になるお値段は、3個入り864円～、5個入り1,134円～。

デザインマンホールに興味を持たれた方は、参考書として「デザインマンホール100選（アットワークス、1,700円+税）」がおすすめである。

## 【編集後記】

千葉県支部の会報第6号をお届けします。

今回はページ数が8ページとやや少ないのは、新規合格者紹介が4名にとどまったからです。少ないなら少ないなりにページ数で制作できるのもデジタル会報のメリットになります。もちろん印刷して使いたい方々の利便性を考慮して、偶数ページ(望ましくは4の倍数)で制作しています。

他県支部の会報と異なり、千葉県支部会報には支部活動の報告は一切掲載していません。そのような内容は会報ではなく、ホームページに掲載し、ホームページと会報は役割を明確に分けています。

さて、今年度から支部役員が大幅に入れ替わり、広報委員長の川畑が支部長に就任したため、広報委員長は広報委員会で会報編集担当であった秋元が務めます。

広報委員会のメンバーも大幅に入れ替わったため、役割分担もしばらくは流動的です。いずれ新しい会報編集担当を決めたいと考えています。

千葉県支部のホームページでは会報の1～5号も資料庫に保管しています。併せてご活用いただきますようお願い申し上げます。

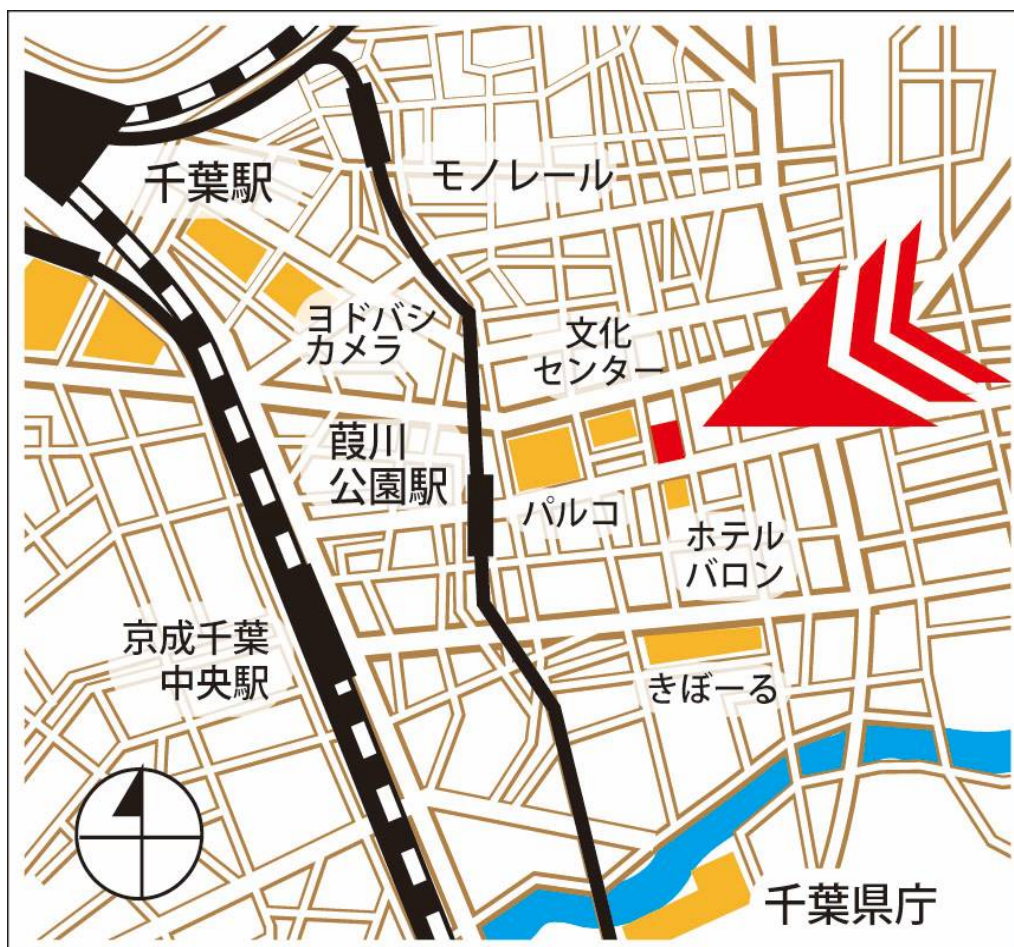
この会報についてご意見を [chiba●engineer.or.jp](mailto:chiba●engineer.or.jp) までお寄せください。

(※迷惑メール防止のために「@」を「●」に換えて掲載しています。ご連絡の際は、「●」を「@」に書き換えて送信してください。)

(広報委員長 秋元英郎)

---





## 日本技術士会千葉県支部会報 Vol.6 (2017)

編集人 日本技術士会千葉県支部広報委員会

委員長 秋元英郎

発行人 支部長 川畑真一

発行日 2017年9月30日

発行所 公益社団法人 日本技術士会千葉県支部

〒260-0013 千葉市中央区中央 2-7-10 シャンボール千葉中央 2階 206号

[日本技術士会 千葉県支部の Web サイト](http://www.engineer.or.jp/c_shibu/chiba/)

[http://www.engineer.or.jp/c\\_shibu/chiba/](http://www.engineer.or.jp/c_shibu/chiba/)